

15人分の「秘密」

医療福祉ジャーナリズム分野修士課程2年 藤原なおみ

「放課後」の居酒屋さんは、「でんぐり会議」になった。
みんなが自然に、自らの「受苦、受難こそ、passion を呼び起こした」
と告白した。

幼い日の酷い貧乏、大切な人の自殺。。。
わたしはと言えば、秘密にしておきたかった恥ずかしい話をしてしまった。。。
ハニーセンセが、あんなに大切なことを、
あんなに正直に、私たちのために話してくださったから、
だから、きっと、わたしは素直になりたくなったのだと思う。
きっと、みんなも、そうだったのではないだろうか。

わたしは、わたしの手で孫を育てる決心をしたときの
コーリング(使命)の話をした。
「神様の声が聞こえたんです！」という、よくわからない話。
でも、それがコーリングだったとしても、残念ながらでんぐりは何もできていない。
そんな情けない話。

それでも、ハニーセンセは、こんなふうに言ってくださった。
「それはね、神様の声が聞こえたんじゃないくて、自分の中の内なる声なんだよ」

えっ？ そうなの？ じゃ、わたしは逃げてたんじゃないってこと？
すでに私自身が、答を出していたってこと？
いつも論理的に納得させられてしまう「ハニ～フラッシュ！」は、
今日も希望の光でした。ありがとうございました。

それから、それから、
15人のみなさんが、とっても愛おしくなりました。
人生は、こんなに苦しくて、こんなにあったかい。
15人分の秘密に、心からありがとうございました。
みなさんが大好き～